

かがやく

ハーモニーひたちなか

第17号
2014.9発行
編集/発行
ハーモニーひたちなか
ひたちなか市女性生活課

がんばるお父さんの声を聞きました！

6月21日に那珂湊第一小学校区子供会連絡協議会主催でお父さんと小学校5、6年生が参加する「第54回幹部訓練」が開催されました。ハーモニーひたちなかは、その行事を企画するお父さんたちに子育てに対する思いを聞くため、取材に伺いました。



幹部訓練実行委員のお父さんとハーモニーひたちなか編集委員

那珂湊第一小学校区では、地域のお父さんたちが小学生と各子供会の垣根を越えて交流できるように様々な行事を企画運営しています。その代表的な行事が昭和30年代から開催されている「幹部訓練」です。

この行事では、各子供会の5、6年生が集まり、学校施設を借りてお父さんたちと身体を使ったゲームやレクリエーションなど様々な事を行っています。そして、年下の子どもたちをリードできるように、また子供会のリーダーである自覚を持ってもらえるように実施されてきました。

お父さんたちは泊りがけで行うこの行事を長年続けてくることができたのは、学校や地域の協力と理解、チームワークのたまものだと話されていました。多くのお父さんが、自分たちが経験したこの行事の楽しさを子どもたちに繋げていきたいと思っています。

子育て真っ盛りのお父さんたち、家族も地域も大切にとの思いが伝わってきます。ひたちなか市の※育メン達、百年目指して頑張れ！

※育児を楽しむ父親



お父さんの考える男女共同参画

「幹部訓練」の良いところは

泊りがけの行事なので、時間を十分使って親も腹を割って子どもたちと向き合えます。この行事がきっかけで子どもたちが中・高生になっても町中で「おじちゃん」と声をかけてくれて、地域でも子育てをしている感じがあります。自分の事を覚えてくれていたことも嬉しいですが、子どもたちに見られている自分を意識して、お父さんも悪いことはできなくなりますね。

家庭での協力は

仕事の帰りも遅いことが多いので、なかなか毎日のことは分担できていません。妻に負担をかけているなどと思う事もあり、常に感謝しています。だからこそ、このような地域行事は「僕たちに任せてね！！」と思っています。子どもたちを大切に思う気持ちは父親も母親も一緒です。



お子さんとのコミュニケーションは

家庭では子どもたちとたくさん話をするように心がけています。この様な事業の時は仕事のシフトを変更するなど調整して参加し、出来るだけ子どもとの時間を優先したいと思っています。また、子どもが家の手伝いなどした時は、褒める気持ちで「ありがとう」と言葉がけすることを心掛けています。

子どもの接し方で男女の区別は

区別することはないですね。例えば、悪いことをして叱るときも一緒ですし、将来的に職業に就くにしても、男の子だから女の子だから「こういう職業に就いて欲しい」という事を考えたことはありません。子どもたちがそれぞれ好きなことを見つけて、進んでほしいと思っています。

◇◇ 男女共同参画ネットワーク講座 ◇◇ — これからの子育て支援のあり方 —

7月11日に県生涯学習センターで講座が行われました。参加したひたちなか市更生保護女性の会の菅原佳江さんから感想をいただきました。

県女性プラザが主催する男女共同参画ネットワーク講座に参加し、NPO法人せたがや子育てネットワーク代表理事の松田妙子さんのお話を伺いました。講座は主にワークショップ形式で行われ、子どものいる家庭が昔と今ではどの様に変化しているのかを踏まえ、子育てをしながら悩んでいる親たちに支援者として何が出来るかなどを話し合いました。その後、子育ての視点からのまちづくりとして、子どもや親の居場所づくりや「せたがや子育てマップ」の作成をしていることについての話を聞き、ひたちなか市にもお母さんたちが作る子育てマップがあれば、他の町から越してきた方の助けにな

るのではないかと感じました。

更生保護女性の会でも、親子の居場所づくりとして、子どもふれあい館で「ひだまり」、那珂湊児童館で「あやとり」という子育てサロンを開設しています。そこに集まった親はお互いに友達になったり、自由に情報交換をしたり、時にはスタッフに子育てについての相談もしています。私たちは子どもたちが犯罪に巻き込まれないよう、また虐待のない環境にあるよう願いながら子育て支援をしています。

核家族の世帯が増えている今、子育てには地域の協力が必要であり、子育ての視点からのまちづくりが大切だと再確認した講座でした。



平成 26 年度 ハーモニーひたちなか総会開催



5月15日男女共同参画センターにて、総会が開催されました。議事では平成25年度事業・決算報告・監査報告が承認され、また平成26年度事業計画(案)・予算(案)について一括審議され議決承認されました。

総会終了後、ひたちなか海浜鉄道(株)代表取締役社長の吉田千秋氏より「まちづくりから見た男女共同参画」をテーマに講話がありました。同社は、利用者を増やすために地元の人たちの理解と賛同・協力を得ながら、様々な努力を重ねてきました。

平成23年の東日本大震災では全線が運行休止になりましたが、「復旧はいつになるのか」との利用者の後押しもあり、同年7月23日に全線復旧を果

たすことができ、現在は震災前の水準回復を目指しているという事です。ひたちなか市は農工商漁といった産業や観光名所があり、「おらが湊鉄道応援団」などの市民力もあるためこれから更に魅力的なまちになる可能性を秘めていると言われました。

また、最近では男性の職場と思われがちだった鉄道業界にも女性の活躍があると話され、JR等で女性がいきいきと働く姿や海浜鉄道の女性社員が鉄道PRを担当していることを紹介して下さいました。吉田氏は、まちづくりには男女の視点が必要であり「鉄道と沿線の活性化は表裏一体、みんなががんばれば鉄道だけでなくまちも活性化できる」との信念のもと、今後も鉄道を活用したまちづくりをしていきたいと語られました。



男女共同参画講座



「目指せテキママ！ ワンランク上の家計術」

日にち 6月19日(木)
ところ 男女共同参画センター
講師 ファイナンシャルプランナー
内村しづ子さん

講座は、家計管理の特徴や意義を生活にどう取り入れるのか、実際の相談ケースを紹介しながらわかり易く進められました。実際にライフプラン表に現在から14年後までの家族全員の年齢、イベント、かかる費用を埋めていくことで漫然としていた出費や、準備期間に気づかされました。表にすることで家計管理の問題点がよりはっきりしますし、男性の方にも一緒に考えてもらい易くなりますと先生は話され

ました。

さらに、ママが働き始めるタイミングや仕事内容については、「焦らず最も良い時期を見計らってください。子どもが小さい時には、その時期にしか味わえない親子の楽しみもあり生涯の宝になります」と語られました。家計を考えることは、どの様に自分が生きていくかを計画することだと実感した講座となりました。

「健やかな思春期を迎えるために ～大切にしたい幼児期の子育て～」

日にち 7月16日(水)
ところ 男女共同参画センター
講師 (社)いはらき思春期保健協会専門講師
佐藤かおりさん

講師の話は多岐に亘り、助産師の立場で子どもたちに伝える思春期の話や、就学前健診を受ける子どもを持つ親たちに対して、子育ての留意点を話されました。

参加した親たちは、子育ての助言と共に「生まれてきてくれた時のことを思い出して」という言葉や、「命の大切さ」の話を深く受け止めていました。ま

た「おへそのはなし」「思春期の心と体の変化」等子どもの成長に合わせた話を聞くことで、参加者は学校で子どもがいつ何を学ぶのかを知ることができました。もし思春期の子どもに、辛いことが起きてもお母さんが一人で抱え込まずに家族で向き合えば乗り越えられると子育てへのアドバイスもいただき、とても内容の濃い講座でした。

素敵な老後の暮らし方 ～シリーズ高齢期の過ごし方⑦～

今回は、様々な教育の場で活躍され、いきいきとした生活を送るハーモニーひたちなか会員の保田禮子さんから寄稿いただきました。

私は「自立」という言葉が好きです。生まれは兵庫県、育ちは愛媛県です。東京、横浜、名古屋、茨城の小、中、高、4年制専門学校の教師を71歳まで務めました。県の「ダイナミックいばらき協会」「青少年育成県民会議」、市の「女性プラン」策定、「ハーモニーひたちなか」初代会長として皆様と共に歩んで参りました。また3人の娘を産み育て楽しい家庭生活も送りました。

ところが昨年3月、肺炎と心筋梗塞で入院し1ヶ月半意識がなく、3度危篤に陥り約半年間入院しました。その後要介護5で退院し近くのデイサービスに通所。足は歩けず、手は冷蔵庫のドアも

ペットボトルの蓋も開けられませんでした。しかしリハビリ治療、指導のおかげで手足に筋肉がもどり要介護2に回復しました。81歳では手足の状態は悪くなくても良くはならないと思いきりあきらめていましたが、リハビリの技術とまわりの皆様の励ましによって良くなったのです。

今はリハビリすることを卒業し、運転免許の更新もでき、ダイヤモンド婚のお祝いもしました。先日は、上高地まで旅行をして穂高連峰を仰いできました。これからは60年共に歩んできた夫と仲良く健康で長生きしたいと願っています。いつでも「自立」の心がけで。



お知らせ

写真展に参加しませんか

家庭、職場、地域などで、性別にこだわることなくいきいきと活動し、男女共同参画をイメージする写真を募集します。応募いただいた写真はハーモニーフェスタ2014の会場で展示します。

○募集内容 応募者自ら撮影した写真で、他のコンテストなどに未発表のもの。サービスサイズから六切までのサイズでカラー、モノクロいずれも可。

○応募方法 プリント出力したものを郵送又はデータをメールに添付（返却しません）

○応募先 ハーモニーひたちなか事務局

○応募締切 9月30日（火）

男女共同参画センターから

11月は男女共同参画強調月間です。ハーモニーフェスタ2014を開催します。

○ハーモニーフェスタ2014

日時：11/2（日）午前9時から
午後3時30分

場所：ひたちなか市総合体育館
サブアリーナ

内容：各団体による展示・発表など

○ハーモニーひたちなかフォーラム

日時：11/30（日）午前10時から

場所：ワークプラザ勝田大会議室

内容：男女共同参画推進事業所表彰
男女共同参画キャッチフレーズ表彰
講演会「野口雨情のこころを伝えて」
講師：野口不二子さん

応募・問い合わせは男女共同参画センターまで

TEL&FAX 354-0167 E-mail danjo282@juno.ocn.ne.jp

編集後記

私の父は、大正2年生まれで、とても父親の威厳が強く、理不尽だなど思うようなことまで時には押し通すような人でした。そんな環境の中で育ったためか、兄は男と女はこうあるべきと決めつけた考え方をしていた気がします。ある時、義姉が娘の出産のため、しばらくの間家を留守にしなければならぬとなり、ご飯の炊き方、お味噌汁の作り方など細かく教えて、親の食事を託して出かけた。私が実家に行った時、兄が台所に立っていました。驚きました。聞いてみると、料理の楽しさを知ったようです。それから、実家に行くたびに、台所に立つ兄の姿を見るようになりました。変われば変わるもの・・・「お義姉さんやっだね」



(H・H)